



第143号
 平成24年2月25日
 田迎校区公民館
 館長 東 旭
 編集委員
 喜讀 宣友 吉住 久江
 重安 和弘 西 朝徳
 ☎378-5878
 編集責任 吉野元生

ふるさと創世

(住み良い町に暮らしの工夫)

実践項目

校区公民館

- 一、あいさつ運動
- 一、明るい地域づくり
- 一、子供達に夢と誇りを

平成二十四年田迎校区新年会

盛大に開催される

平成二十四年一月六日(金)午後六時から田迎公民館において、平成二十四年田迎校区新年会が行われた。
 新年会には、一町内十三名、二町内二十四名、三町内十五名、五町内二十二名、来賓十七名、計九十一名が参加して行われた。
 新年会は、田迎校区公民館主事の吉野氏の司会によって始められた。はじめに東館長の開会の挨拶のあと、主催者挨拶を西田耕造自治協議会長が行い、その後、来賓を代表して江藤市議会議員の挨拶が行われた。
 引きつづき、前田まちづくり委員長の乾杯の音頭で新年会は始められた。
 今回、参加された人は、全て各町内の役員として町内の仕事をしている人達である。
 一年に一回の出合いとなる人もあり、あちこちで年賀の挨拶が交わされていた。



自分の力で楽しく遊ぶプレイパーク

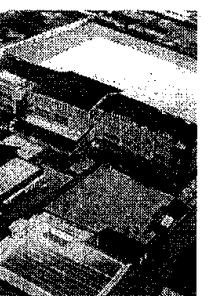
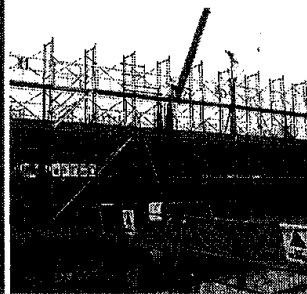
平成二十三年十二月十八日(土)午前十時から田迎三丁目公園に於いて第四回プレイパークが行われた。

はじめに青少協会長の下川氏の挨拶のあと(もちつき、ダンボール遊び、火おこし、パン焼き、腕すもう、一輪車遊び、竹細工、竹とんぼ遊び)に分れて、プレイパークは実施された。

参加した子ども達は、それぞれの好きな所に行き、楽しそうに遊びに興じていた。特に、パン焼きは行列が出来る程であった。
 竹とんぼは色ぬり、竹細工は笛づくり、子ども達は時間は笛づくり、子ども達は時間

田迎小新設校の現況

平成二十五年四月開校をめざしている新設校の校名は田迎西小学校に決まりそうである。
 現在の工事の進行状況は、校舎の骨組みも出来上がりコンクリートを流しこみ作業が行われている。また、体育館などの基礎作りも着々と進行している。
 工事現場の扉には田迎小児童が描いた夢のあるかわい絵が印刷されている。
 新設校に対する児童達の期待の強さが伺われる。



今後は、校歌や校旗が定められて、本格的な分離への作業が進められる様である。
 今度、市教委が完成した田迎西小の想像図を作っている。それを見ると、すばらしい体育館や芝一面の中庭、近代的な和風式の校舎が出来ようである。下に掲載してある写真が田迎西小学校の想像図の写真である。この写真をみると市内でモデル校になりそうならば、いい学校になりそうである。

ニコニコ、にらめっこ大作戦

平成二十三年十一月二十九日と三十日の二日間にかけて、田迎小学校に於いて子ども交通安全教室が行われた。この教室は黒ねこヤマト運輸の協力を得て、交通事故に対する意識を高めるために開かれたものである。
 ヤマト運輸から十二名、校区交通安全協会の指導員五名によって行われた。



自分の命を守るのは自分自身であるとの話を聞いたあと、トラックや家用車を kullanarak 教室は行われた。
 特にトラックによる運転席からの死角を知る実験等では、車の内側に子どもがはいると席からみえない事などを子ども達は知る。

また、自動車のブレーキをかけての停車距離の実験をみた子ども達は目を丸くしていた。次に、自転車のみき込みの実験をみて、事故の怖さを知った様である。
 その後、ニコニコ、にらめっこ

買い物に来られたら、建設の様子などの見物に連れてはどうだろうか。
 完成する事を楽しみに待とう。

子ども達に実際の車を使つての交通安全教室の開催は、体に直接感じさせるのに、よい機会になったものと思われ。ヤマト運輸の方々、校区の交通安全指導員の方々にお礼を申し上げます。